

## 別紙①-1 版下サイズ

作成した版下データが下記に該当する場合は再度作成して頂くこととなりますのでご注意ください。

### ①外径枠の大きさが違う場合

下記の計算式にあてはまらず仕上げサイズを越えるもの

(外径枠の大きさは線の中心からではなく、外寸から外寸までの長さとしてします。)

(例) 角型2060号の場合

(Illustratorで作成する場合)



仕上げサイズ

外径 20mm

外径 60mm

※角型2060号の場合、外径の幅が20×60mmになるように作成してください。  
(Illustrator等で作成する場合、線の中心で作成される場合が多いのでご注意ください。)

**計算式** 機種サイズ - 罫線の太さ = 仕上げサイズ

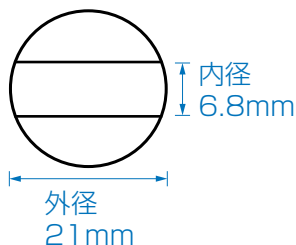
※角型2060号の場合

$$\begin{array}{l} \text{縦} \quad 20\text{mm} - 0.5\text{mm罫線} = 19.5\text{mm} \\ \text{横} \quad 60\text{mm} - 0.5\text{mm罫線} = 59.5\text{mm} \end{array} \quad \leftarrow \text{このサイズが仕上げサイズになります。}$$

### ②日付部分の枠スペースの幅が違う場合

(日付部分の枠スペースの幅は、上下の線の中心からではなく、内寸から内寸までの長さとしてします。)

(例) データネーム21号グリッパ式の場合



※円の外径の幅が21mm、日付部分の内径が線幅分を控えて6.8mmになるように作成してください。

※その他サイズの日付部分の内径寸法は、総合カタログ印面サイズ一覧を参照してください。